

# 令和4年度 青臨技 精度管理調査 輸血細胞治療部門

## I. 検査項目と試料の取り扱い

### (1) 検査項目一覧

参加コースを選択してください。

輸血 A：ABO・RhD 血液型検査、フォトサーベイ

輸血 B：ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、フォトサーベイ

輸血 C：ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定、フォトサーベイ

### (2) 試料一覧

配布試料を確認してください。赤血球 2 本、血漿 2 本の計 4 本です。

試料 1-C：赤血球（ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定）

試料 1-P：血漿（ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定）

試料 2-C：赤血球（ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定）

試料 2-P：血漿（ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定）

- 精度管理調査用の試料は HBs 抗原、HCV 抗体及び HIV 抗体陰性であることを確認しておりますが、感染の危険性のあるものとし、患者検体と同様に取り扱いに十分注意してください。

## II. 実施方法および注意事項

- ① 青臨技ホームページ <http://www.aoringi.org/> から、回答選択用紙をダウンロードしてください。試料に対する検査を実施後、青臨技ホームページ輸血部門の Google フォームから回答してください。また、アンケートにもご協力ください。
- ② 検査は通常の業務で行っている方法で、試料受領後、試料の状態を必ず確認し速やかに検査を実施してください。
- ③ 試料 1-C、試料 2-C は赤血球保存液に浮遊しており、多少の溶血を認めることがあります。生理食塩液等で洗浄し、各施設の基準に基づき濃度を調整してから使用してください。また、血漿試料は 3,000rpm、10 分間遠心してから使用してください。
- ④ 検査手技、判定法は「輸血・移植検査技術教本」または「輸血のための検査マニュアル Ver.1.3.2」を準用してください。

- ⑤ 凝集反応の分類については以下のように統一してください。
- 4 + 1個の大きな凝集塊、背景は透明
  - 3 + 強い凝集、数個の大きな凝集塊、背景は透明
  - 2 + 多数の小さな塊の中に中程度の凝集塊、背景は透明
  - 1 + 多数の小さな凝集塊、背景は赤く濁る
  - w + ごく小さな微細凝集、大部分は非凝集赤血球、背景は赤く濁る
  - 0 凝集が見られない
- ⑥ 判定できないときは、[9] 判定保留 を選択してください。

## 【問い合わせ先】

輸血部門の精度管理に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。  
その際、必ず施設名・連絡先をお伝えください。

弘前大学医学部附属病院 輸血部 小山内 崇将  
TEL：0172 (39) 5321  
E-mail：taka-osa@hirosaki-u.ac.jp

## III. 実施検査項目

### 1. 血液型検査

#### (1) ABO 血液型検査 (輸血 A・B・C)

試料1、試料2のABO血液型検査を実施し、結果を判定してください。ウラ検査の反応強度は最終判定に用いたものを選択してください。追加試験（吸着解離試験等）は実施しなくて結構です。

#### (2) RhD 血液型検査 (輸血 A・B・C)

試料1、試料2のRhD血液型検査を実施し、結果を判定してください。

### 2. 不規則抗体検査

#### (1) 不規則抗体スクリーニング (輸血 B・C)

試料1、試料2について不規則抗体スクリーニングを実施し、結果を判定してください。

#### (2) 不規則抗体同定 (輸血 C)

試料1、試料2について、不規則抗体スクリーニング陽性の場合には抗体同定を実施し、同定された抗体名と準備すべき赤血球製剤について選択してください。

### 3. フォトサーベイ (輸血 A・B・C)

カラム法による検査結果の写真です。各カラムを観察して判定してください。

写真1

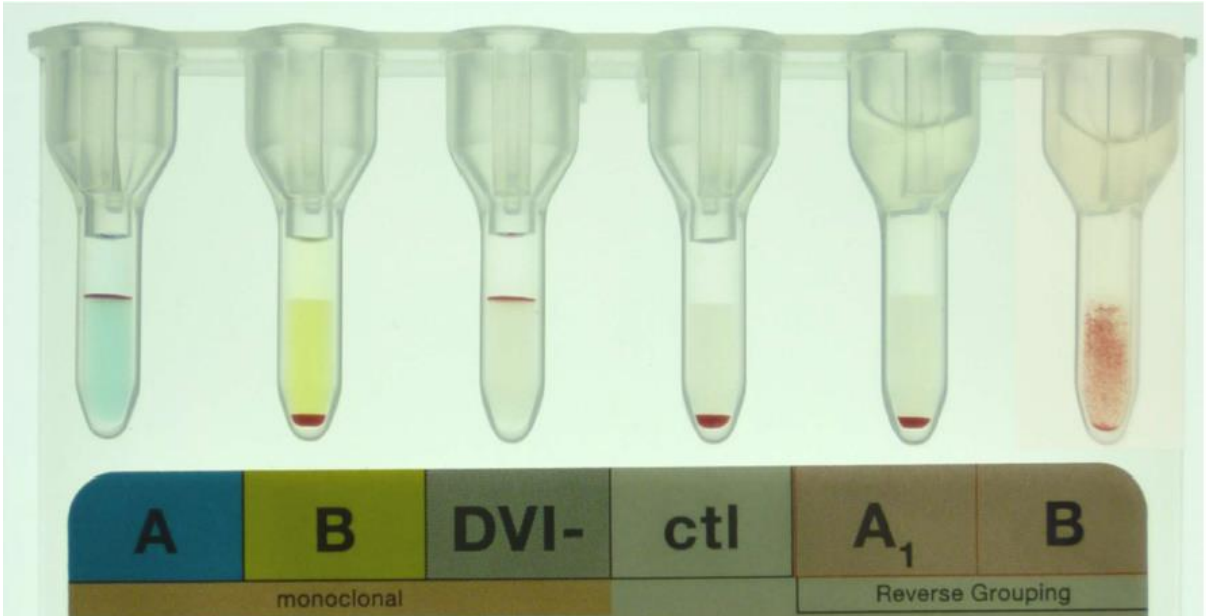
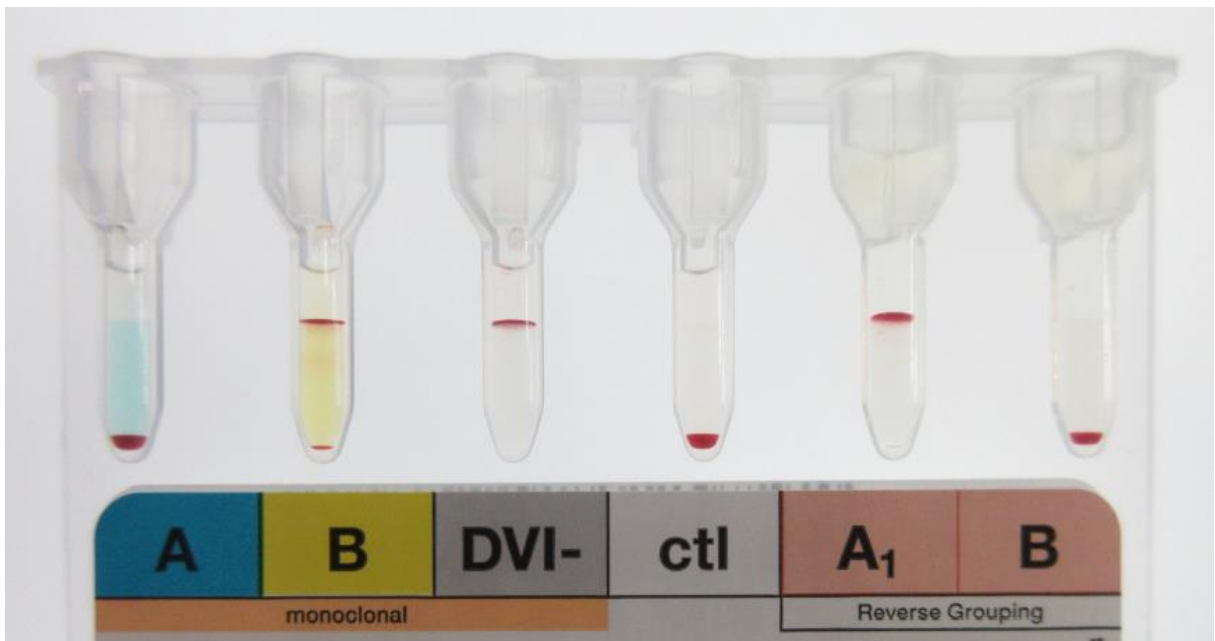


写真2



写真提供：ID-System バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社